

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 大里東 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

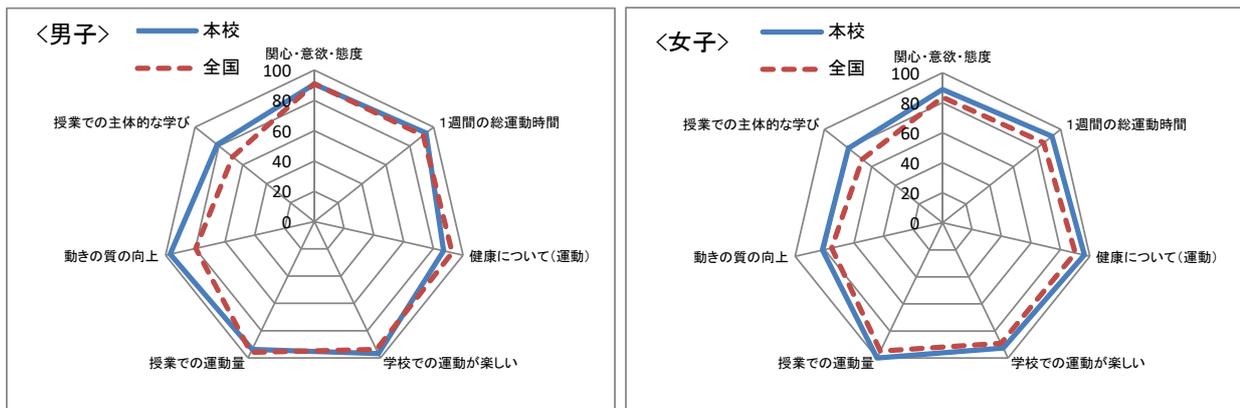
2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

男女ともに動きの質の向上や、授業での主体的な学びの項目が全国平均に比べて高い数値となった。また、運動量においては、授業と授業以外ともに十分に確保できていた。これは、体育科学習の授業展開の工夫改善や、運動会の実施、昼休みの十分な時間の確保と外遊びの推進などの取組が効果的であったと考えられる。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

授業の始めに授業の目標(目当て・ねらい)が示されたり、友達同士やチームの中で話し合う活動を行っている取組より、体育科の授業において主体的な学びに関する項目の肯定的な回答数の向上が見られた。今後も体育科学習の授業展開を工夫していくことを重点に取り組んでいく。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

健康な身体づくりには運動が必要であることを保健学習や学級活動の時間に継続して指導していった。また、昨年度より、昼休みの時間や運動会の練習期間を増やしたりしたことで運動をする機会を増やしていった。これらの取組により、運動量が向上している。来年度も昼休みの外遊びの推進等を継続して行う。